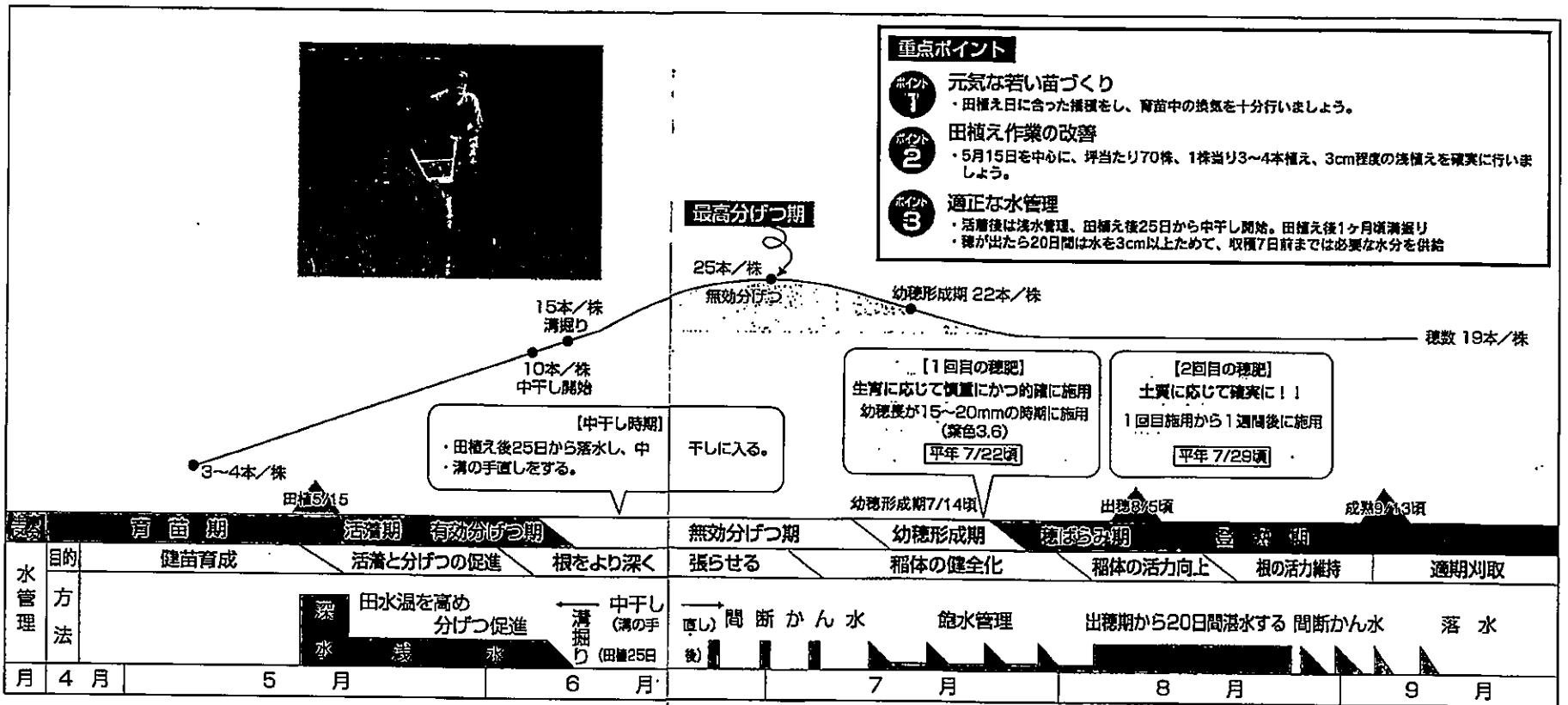


コシヒカリ栽培 こよみ 〈JA米の生産基準〉

坪当たり70株植え、田植え後25日での中干し開始、出穂期 から20日間の湛水管理で品質の高い氷見米に仕上げよう!!

コシヒカリ 9俵どりの目安	
栽培密度	70株/坪
1株当り穂数	19本
m当り穂数	400本
1穂重	70粒
m当り粒数	28,000粒
千粒重	22.5g
登熟歩合	87%

※ 穂数不足により収量及び品質の低下が目立っています。面積当りの穂数を確保するために、70株、浅植えを行ってください。



コシヒカリ 施肥設計基準

※ 適量基肥は土壌性状によって異なるため、必ず地域の基準を参考にしてください。

全層施肥

土壌	基肥		穂肥	
	早期追肥 (田植後7日頃)	出穂15日前	幼穂長15~20mm時 1回目の1週間後	2回目の1週間後
粘質土	14	7	10	10
壤質土	17	7	10	12
砂壌土	20	7	10	13

側条施肥

「LP555-1号」 (kg/10a)

土壌	基肥		穂肥 出穂15日前
	LP555-1号	LP555-1号	
粘質土	14	15	
壤質土	17	15	
砂壌土	20	17	

「肥効調節型肥料」(基肥+追肥)を使用する場合 (kg/10a)

土壌	側条施肥	
	LP555-1号	LP555-1号
粘質土	25~30	
壤質土	30~35	
砂壌土		35~40

○ 高温年は出穂3日前迄の追加穂肥を施用しましょう。(66肥3号 7kg/10a)

肥効調節型肥料 使用上の注意点

- 側条施肥田植機での使用に限定する。
- 肥効調節型肥料の施用は5月25日頃までとする。(それ以降の施用は倒伏しやすくなります)
- 仮比重が一般の肥料より軽いため、田植機施肥部の開度の調節を必ず行う。
- 分施に比べてリン酸、加里の比率が低く不足しやすいので、春に新スーパーエスアイ加里を施用する。